

「あぐりんなかいち」オープン8周年

直売所「あぐりんなかいち」がオープンから8周年を迎え、12月16日(金)と17日(土)の2日間に8周年祭が開かれました。特価の農産物や総菜などが店内に並び、多くの人でにぎわいました。

日頃のご愛顧への感謝を込めて、秋田市産のリンゴやキャベツなどの特別セールが行われ、8周年にちなんだ80円のダイコンやハボタンなども来店者の注目を集めました。「サキホコレ」の日本酒やハム・ソーセージセット、エコープなべ焼きうどんや米粉シフォンケーキなどが当たる抽選会も盛り上がりしました。

今後も新鮮な地場産品を身近に感じることが出来る直売所の運営に励んでいきます。

秋田市産の野菜を
買い求める人でにぎわう店内



梨の霜害なく出荷量大幅回復

果樹部会男鹿支部における令和4年度の梨の販売額が、前年度比156%の2億1428万円に上りました。甚大な霜害を受けた令和2、3年度をふまえて生産者やJ A、関係機関らが対策を講じて着果数を十分に確保し、出荷量は同比190・1%の615・7トンに回復しました。出荷は8月25日(木)から10月31日(月)まで行われました。

12月16日(金)に開かれた共販実績検討会で、令和4年度の生育経過や出荷実績が報告されました。秀品率や大玉率、生産量が優れた生産者の表彰も行われ、最優秀賞に男鹿地区の藤原大將さんと天王地区の三浦隆さんが輝きました。

優れた出荷実績が
称えられた生産者(左)



NEWS & TOPICS

ネギ立毛品評会表彰式・県外出荷実績検討会

12月20日(火)、「なまはげアグリエールプロジェクト」のネギ産地育成プロジェクトの一環で行われた立毛品評会の表彰式と、今年度の県外出荷の実績検討会が秋田パークホテルで開かれました。夏ネギ部門の最優秀賞と秋冬ネギ部門の優秀賞に輝いた安田源一郎さんと、夏ネギ部門の優秀賞と秋冬ネギ部門の最優秀賞を受賞した(農)アグリあいかわが、表彰状を受け取りました。

今年度の県外への出荷は8月24日(水)から始まり、生産者とJ A、市場などとの連携強化や計画数量の安定出荷などができたこと、単価や販売額が昨年度から向上しました。

高品質な栽培管理が
評価された生産者(左)



加賀屋慎一さんが「サキホコレマイスター」に認定

当J Aサキホコレ栽培研究会の加賀屋慎一さんが、「サキホコレ」の高い栽培技術を持つ「サキホコレマイスター」に認定されました。

12月23日(金)、秋田米のトップブランドとしてさらなる品質の向上と安定化を目指す「サキホコレ」栽培技術向上フォーラムが秋田キャッスルホテルで開かれ、加賀屋さんをはじめ県内の生産者14名に、同マイスターの委嘱状と「サキホコレ」の色つやをイメージした白色の専用の上着が贈られました。

同マイスターは「サキホコレ」のブランドをけん引する存在として、新規生産者への技術指導やPR活動などを行っていきます。

「サキホコレマイスター」の
委嘱状を受け取った加賀屋さん

